

# 令和6年3月

## 第 308 回定例市議会

---

### 市長施政方針

#### はじめに

本日、第 308 回加西市議会定例会の開会に際し、令和 6 年度の予算をはじめとする諸案件の審議をお願いするにあたり、お時間をいただき、新年度の市政運営に臨む所信の一端を申し上げ、議員各位並びに市民の皆さまのご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

はじめに、今年の 1 月 1 日、石川県能登地方を震源地とする令和 6 年能登半島地震が発生しました。観測された震度 7 という揺れは東日本大震災に匹敵するほどの震災であり、被災地では、2 百余名の方がお亡くなりになり、今なお多くの方々が避難生活を余儀なくされております。心からお悔やみとお見舞い申し上げます。加西市からも家屋被害認定調査の派遣やふるさと納税代理寄附などの支援を実施しており、被災地の一日でも早い復興をお祈り申し上げます。

さて、私は昨年 6 月に市民の皆さまの信託をいただき加西市長に就任し、8 か月余りが経過しました。市民の皆さまより届いた声や思いを胸に、「進取の精神」で令和 6 年度の事業計画及び予算編成に取り組んでまいりました。

とりわけ、令和 6 年度予算編成にあたっては、タウンミーティング、市長への手紙等、様々な機会において頂戴した市民の皆さまからの要望を実現していくことを念頭に置き、財政規律を重視の上、組み立ててまいりました。

令和 6 年度が、コロナ禍から脱却し、新たな時代をリードする加西市の成長や繁栄につながる一年となるよう、所信表明でも申し上げた 5 つの柱に沿って、各分野の政策を積極的に進めてまいります。

## 1. 子育てしたいまち、学びたいまちの実現

加西市では、未来へ続く持続可能なまちづくりを進め、様々な子育て支援策を継続し、子育てしたいまちを目指します。

多くの市民の皆さまが高い関心を寄せられている学校のあり方については、タウンミーティングやアンケート等による新たな視点を加え中学校を2校、小学校は将来的には3校に再編する方針をお示ししたところです。再編にあたっては小規模校の良さを残しつつ、「基礎基本の定着」を図りながら、「考える力を伸ばす教育」や「グローバル教育」等の特色ある教育を推進することで魅力ある加西の教育を実現し、「学びたいまち」を目指します。

## 2. くらしを支える福祉・医療の充実

開院50年を迎える市立加西病院は、地域における基幹的な医療機関として、地域に必要な医療を補い、地域の医療水準を確保するという重要な役割を果たしており、市民が安心して暮らせるまちづくりには欠かせない施設であります。そのため、新病院の周辺に開業医や商業施設、住宅団地を整備する「メディカルタウン」構想を進め、新病院をコアにして、その周辺地域も含めた整備を行うことで、暮らしを支える福祉・医療の充実を実現します。

## 3. 活力とにぎわいのあるまちづくり

加西市は、ものづくり産業が盛んであり、市内経済と雇用を牽引してきました。将来を見据えた加西インター産業団地の整備は、市内産業の活性化や新たな雇用の創出、さらには新たなまちづくりにとって重要な事業であるため、事業協力者との公民連携により継続して進めてまいります。

また、加西市では、古くから大阪や京都との交流により多種多様な歴史文化遺産が形成され、今なお脈々と受け継がれていることも忘れてはなりません。これらの遺産を活かしたまちづくりが、地域の魅力を一層引き立てることにつながります。そのため地域の資源や遺産を活かしながら、地域の課題解決と改革を進めてまいります。

## 4. 快適に暮らせるまちづくり

環境省から脱炭素先行地域としての選定を受け、市内の脱炭素化施策として、公共施設を中心に自立分散型エネルギーシステムを構築し、地域エネルギー会社を設立することで、行政施策と連動した脱炭素化事業を推進するだけでなくエネルギー代金の域内循環を同時に実現します。

また、DX推進の一環として、市民の安全・安心を守るため、情報伝達システムを

導入し、防災情報の一斉通知の仕組みを構築します。情報弱者に対してはタブレット貸与やアプリの設定支援などにより誰一人取り残さないデジタル化を進めます。あわせて、自治会や市民への、防災情報以外の連絡手段としても活用し、より便利で快適に暮らせるまちづくりを推進します。

## 5. 市民に寄り添った行政の推進

多岐にわたるこれらの施策について、市民の皆さまとの対話を重ね、丁寧にご意見を伺い、若者や女性の要望も引き出しながら、“誰一人取り残さない”市政実現のために取り組んでまいります。

### 予算編成の基本方針

それでは、令和6年度における予算編成にあたっての基本方針をご説明いたします。

令和6年度は、私が市長になって初めて新年度の予算編成を行いました。市長就任にあたり、所信表明で申し上げました、「地域行政は市民生活そのもの」であるという原点に立ち、「人」だけではなく「農業や産業」、「歴史や伝統文化」なども含め、加西市の潜在能力を最大限に活かし、加西市がますます輝くまちとなるよう、全身全霊で取り組んでまいります。

そのため、私が掲げる予算編成の基本方針として、『子育てしたいまち』『学びたいまち』の実現、「くらしを支える福祉・医療の充実」、「活力とにぎわいのあるまちづくり」、「快適に暮らせるまちづくり」、「市民に寄り添った行政の推進」に重点を置いた施策を展開してまいります。

また、本年1月1日の能登半島地震を受け、市民の安全・安心を守っていくことは、行政の責務であることを改めて痛感し、「災害に強いまちづくり」のため、道路修繕をはじめとするインフラ整備や、老朽施設の耐震化、長寿命化を進めるとともに、情報伝達システムを活用した、市内地域における防災・災害情報の連絡体制を早急に整えてまいります。

一方で、今後、庁舎増築や小中学校の再編、スポーツ施設の整備などの大型事業が控えており、厳しい財政運営が予測されます。

そのため、行政に求められる市民ニーズを的確に把握し、真に有効な事業を厳選したうえで、予算配分の重点化、効率化を進めるとともに、国・県の補助金や交付税算入率の高い起債、ふるさと納税等を最大限活用し、公債費の抑制、財政調整基金の確保に努め、財政規律を堅持し健全な財政運営を守るという方針により、予算編成を行っております。

## 令和6年度の主要な施策

新年度に取り組む主要な施策を、「第6次加西市総合計画」に掲げる4つの基本方針に沿って申し上げます。

### 【基本方針1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ】

一つ目は、「子育てを応援し、暮らしを愉しむ」ための施策です。

児童福祉法の改正に伴い、本庁と福祉会館の分離型で母子保健と児童福祉を一体的に推進する「こども家庭センター」を設置します。

また、「基礎基本の定着」「考える力を伸ばす教育」「グローバル教育」の推進により、魅力ある加西の教育を目指しながら、挑戦する力・協働する力・創造する力を備えた新しい時代に対応する次世代型人材を育成します。

### （政策1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実）

結婚支援については、引き続き「加西市出逢いサポートセンター」により利用しやすい仕組みを取り入れ、出逢いのバックアップを行います。

また、児童福祉法の改正により、本庁と福祉会館の分離型で母子保健と児童福祉を一体的に推進することも家庭センターを設置します。当センターでは、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が連携した一体的な相談支援をはじめ、新たに個別サポートプランの作成や合同ケース会議の開催などを通して、健康保持増進や福祉に関する包括的かつ継続的な専門性を活かした支援と虐待予防に努めます。

産後ケア事業を誰もが等しく利用できるサービスとして浸透させていくために、お試しで利用できる無料券を配布し、育児をしやすい環境を整えていきます。子育て支援の推進として、保育教諭や学童支援員の増員を実施し、児童生徒の受け入れ体制の充実を目指します。

さらに、1歳から中学生までと産婦を対象とした季節性インフルエンザワクチンの一部助成を引き続き実施していくことに加え、おたふくかぜ予防接種の助成を2回助成へと拡充していきます。また、すくすく子育て定期便による育児の孤立化の予防や見守り支援、子育て相談を行いつつ、ひとり親家庭のショートステイの利用料減免に取り組めます。

### （政策2 子どもの教育の充実）

魅力ある加西の教育の実現を目指し、「基礎基本の定着」「考える力を伸ばす教育」「グローバル教育」等の推進により、挑戦する力・協働する力・創造する力を備えた

新しい時代に対応する次世代型人材を育成します。

北条高校活性化協議会と連携しながら北条高校の活性化を進めていくとともに、播磨農業高校の地域交流活動を支援します。

いじめ・不登校対策として、臨床心理士・スクールソーシャルワーカー・発達支援アドバイザーといった専門知識とスキルをもった学校サポートチームによる支援を充実させます。特に全国的にも増加傾向である不登校については、これまでの教育支援センター「ふれあいホーム」に加えて、「校内フリースクール」を全中学校に開設し支援体制を整えます。

また、学校運営協議会により、学校と地域住民、保護者が力を合わせ、地域全体で学校の運営や子どもの成長を支えていく「地域とともにある学校」を推進しながら、「開校準備委員会」を設置し、保護者や地域の方々との議論を進め、統合する小中学校の開校に向けて取り組んでいきます。

### （政策3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり）

幅広い世代の方が生涯にわたって学び、楽しめる環境づくりを推進するため、公民館等を拠点として、地域や学校等とも連携した学習の機会を充実させるとともに、公民館登録グループによる社会貢献活動を推進します。社会教育推進員の活動を再開し、コロナ禍で停滞した社会教育活動を地域とともに充実させていきます。

図書館では、幅広い世代に向けた読書定着への取組を進めるとともに、電子図書館サービスをはじめとして、LINE連携・スマート登録等、簡単・便利な図書館サービスを提供します。スポーツでは、スポーツ推進委員会を中心としてニュースポーツの普及・推進を図り、高齢者や障がい者を含めた幅広い対象者がスポーツを楽しめる環境を整えるとともに、プロのアスリートや指導者を迎えたスポーツイベントを開催して「一流」に触れる機会を充実させます。

スポーツを推進するための環境整備として、総合運動公園の建設を目指すとともに、備品を新調し、施設利用者の利便性の向上を図り、スポーツ少年団やスポーツ協会の活動の支援、指導者講習会の開催により、指導者の育成を目指します。

各種講座等、身体とこころの健康についての支援体制を整え、誰もが健やかに暮らすことができる取組を行うことに加え、健幸都市推進事業では、引き続き、子育て世代から高齢者までの幅広い世代を対象とした運動や栄養に関する講座を開催します。

運動ポイント事業ではランキングのグループ機能を活用し、より楽しみながら健康づくりに取り組めるイベントを開催します。

町ぐるみ健診、医療機関健診などを受診しやすい体制を整え、生活習慣病予防と重症化予防に努め、がん好発年齢層をターゲットに個別勧奨を実施します。

#### **(政策4 くらしを支える福祉・医療の充実)**

住み慣れた地域でいきいきと自立した自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムを深化させます。

認知症対策では、「認知症基本法」の基本理念に基づき、市民・行政・事業者が連携して、認知症になっても誰もが住み慣れた地域で暮らしていける地域づくりを目指します。シルバー人材センター等の関係機関と連携し、高齢者の就業機会の増加を図るほか、集いの場については、今後もより多くのまちで参加者が増加するよう、事業の普及啓発に努めます。

また、障がいのある人の重度化・高齢化・孤立化を見据えた居住支援のため、地域生活支援拠点の活用と人材育成を進めるとともに、相談支援専門員の確保に努め、聴覚障がい者に対しては、安心して相談や手続きができる体制を築くほか、手話の一層の普及啓発を図ります。

生活困窮者に対しては、地元企業の協力を得ながら一般就労への支援を行い、就労準備施設での就労訓練を通して、就労・自立につながる取組を行います。福祉的な支援が必要な子どもへは、学習支援事業やひきこもり対策事業を実施し、社会参加に向けた支援を行っていきます。さらに、子どもの居場所や地域の人々とのつながりの場として、こども食堂の運営を支援していきます。

加西病院では、新病院に係る基本構想・基本計画の策定を行います。将来にわたり持続可能な病院運営の確立に資する経営改革に取り組みながら、圏域内外の医療機関と役割分担を行い、地域に必要とされる医療の提供に努めます。

#### **【基本方針2 活力とにぎわいのあるまちを育む】**

二つ目は、「活力とにぎわいのあるまちを育む」ための施策です。

加西インター産業団地では、いよいよ第2期事業をスタートさせます。昨年12月に新たな事業協力者を選定し、公民連携により、地域経済の成長と雇用確保の基盤となるよう完成に向けて着実に事業を進めます。

また、新たな観光客を誘致するため、観光客の市内周遊を拡充、気球搭乗体験やサイクルツーリズムなど体験コンテンツを充実させ、市内観光事業者との連携を強化します。

#### **(政策5 農業の再生と活性化)**

市内産農産物を利用した加工品の開発や販売促進の取組への支援を行います。

就農促進活動の取組を推進して就農による移住者を増やすとともに、地域の担い手となる経営体の育成、安定した経営への取組を支援してまいります。

また、農業経営者、集落営農組織などの事業承継について取組を進めます。農業経営の支援として、集落営農や認定農業者の法人化への支援、機械導入や農耕用大型特殊免許の取得の支援を行うとともに、地域計画の策定に向けて取り組み、農地の集積・集約化を進めていきます。

特産農産物の生産振興では、J A兵庫みらいと協働し、特産の柱であるブドウについて、市独自の棚整備及び苗木購入の補助を継続するとともに、加西ゴールデンベリーAに続く市場出荷品種ブラックビートの拡大に努めるほか、酒米山田錦の生産振興を図ります。さらに、今まで産地として認知されていなかった高い生産技術力を誇るハボタンを含む花卉（かき）の積極的なPRを進めます。

作業省力化・効率化等を実現するため、スマート農業の推進、環境制御機能等の施設導入を支援します。ほ場整備事業では、東高室地区、在田南部地区を推進し、水稻及び野菜の生産コスト低減並びに生産拡大を図ります。国が策定した「みどりの食料システム戦略」を推進し、環境や生物多様性に配慮した環境保全型農業の取組を進めます。

市内に点在するため池については、今後発生が予想される異常気象に備え、計画的な改修を行うとともに、有害鳥獣被害防止対策では、獣害防護柵の設置を基本に、電気防護柵の補助も行い鳥獣による農作物被害の軽減に取り組みます。

## （政策6 商工業の振興と新展開）

事業者が、垣根を越え、新しい価値の創造へ挑戦しやすいように、デジタル化等の事業環境整備の支援に取り組みます。「加西市ねっぴ〜Pay」を活用して、地域通貨が域内で循環する仕組みを構築し、地域経済の活性化とキャッシュレス決済の普及を促進します。

また、創業ワンストップ相談窓口を設置し、スタートアップ支援や空き店舗活用補助など積極的に起業の促進を図るとともに、起業スクールやビジネスグランプリの開催を通じて、起業気運の醸成、ビジネスプランのブラッシュアップ、事業者同士のコミュニティづくりに取り組み、加西商工会議所と連携しながら伴走型支援を進めます。

加西インター産業団地では、公民連携により、地域経済の成長と雇用確保の基盤となるよう完成に向けて着実に第2期事業を進めます。

さらに、地域企業の雇用情報の提供の強化・充実を図り、市内の雇用力を高める環境づくりを推進し、国が進める働き方改革に沿って、ワーク・ライフ・バランスに配慮し、子育てに配慮した職場環境づくりなど、市内労働者の働く環境を整える取組を進めます。

## （政策7 地域資源の活用と人の流れの創出）

加西市地域活性化拠点施設「sora かさい」は受益者負担の観点から資料観覧について有料化を図り、民間活力を活かして施設の効率的運用に努めてまいります。さらに歴史文化遺産をデジタル活用し、より多くの方に平和学習の場を提供するとともに、観光客の市内周遊の拡充、気球搭乗体験やサイクルツーリズムなど体験コンテンツの充実のほか、市内観光事業者との連携を強化し、新たな観光客誘致を推進いたします。

また、web コンテンツをさらに活用した情報発信や人材集約を図るとともに、観光経済効果を最大化するため、人流データ等を活用し観光産業基盤づくりを進めます。

都市部の若者と市内で活躍する人々をつなぐ中間支援組織に移住・定住相談業務を委託し、多岐多様な背景をもつ相談をワンストップで受けるとともに、ワークショップや相談会を積極的に実施するほか、新婚世帯の家賃や引っ越し費用に加え、若者世帯の住宅取得を補助することにより、移住・定住の推進を図っていきます。

さらに、「加西空き家対策専門家協議会」と連携し、空き家の予防対策と活用を進め、お試し滞在補助や空き家バンク制度を活用するとともに、空き家を活用し北条地区と宇仁地区に設置したお試し居住施設を、移住・定住に繋げていきます。

## 【基本方針3 快適に暮らせる安全な社会をつくる】

三つ目は「快適に暮らせる安全な社会をつくる」ための施策です。

住環境の整備について、市街化区域内では、低未利用地での住宅や商業施設など生活利便施設の立地を支援し、市街化調整区域では、土地利用の抜本的な課題解決を図るため、市街化区域と市街化調整区域の線引きの廃止について、令和7年度末の実現に向けて、兵庫県との協議を進めます。

道路網整備については、幹線市道の改良工事を計画的に進めながら、国道372号加西バイパスをはじめとする国道、県道の整備を県と共に推進します。

## （政策8 安全・安心に暮らせる環境の充実）

防災対策では、自主防災組織と消防団への支援充実を図るとともに、全市的な情報伝達システムの運用を開始します。

防犯対策では、主要な交差点等への防犯カメラ設置や地域団体の防犯カメラ設置に対する助成を引き続き実施します。

交通安全対策では、高齢者の運転事故防止対策として、車両の安全装置の購入及び設置にかかる費用の一部を引き続き補助します。

また、消費者被害の未然防止・拡大防止に向けた積極的な啓発等、予防に重点を置いた施策を行うとともに、迅速かつ的確な相談体制の強化を図ります。加えて、警察や地



域の団体、事業者とも連携して消費者トラブル防止に取り組みます。

### **(政策 9 快適な都市空間の創出)**

住環境の整備について、市街化区域内における低未利用地での住宅や商業施設など生活利便施設の立地を支援し、市街化区域と市街化調整区域の区域区分の廃止（線引きの廃止）について、令和 7 年度末の実現に向けて、兵庫県との協議を進めます。

また、地域課題の解決に向けたまちづくりや産業用地の創出の取り組みを支援するため、特別指定区域制度、地区計画制度を活用して大胆な建築規制の緩和を継続して行います。さらに、北条旧市街地では、住環境整備を引き続き進めるとともに、歴史的まち並みの景観保全のため石畳風舗装を延長します。

公共施設を中心に太陽光発電設備や蓄電池を活用した自立分散型エネルギーシステムを構築し、更に、地域エネルギー会社を設立することでこれらの電力を効率的に地域内循環させることにより、「エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまち加西」を目指します。市民には太陽光発電設備や蓄電池の整備に加え、電気自動車への転換を図る補助制度を実施します。ごみ対策では、リサイクル推進に対する補助事業を継続的に実施するとともに、不法投棄・野焼き防止に向けた啓発、災害時に円滑かつ迅速なごみ処理ができるよう取組を進めていきます。また、新ごみ処理施設建設について、小野市・加東市と連携を図り、効率的で環境に配慮したごみ処理施設の計画を進めます。一方、老朽化した焼却施設の安全や環境への影響が懸念されるため、加西市クリーンセンターの解体に向けた計画を進めます。

生物多様性に育まれた自然環境づくりを推進するため、「あびき湿原」等の加西市の貴重な生態系の保全を地域住民と推進し、希少生物の生息状況について植生等の調査を行うとともに、生態系調査を取りまとめ、地域の活性化への利活用を図ります。

### **(政策 10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備)**

道路網整備では、幹線市道の改良工事を計画的に実施するとともに、国道、県道の整備を県と共に進めます。特に、国道 372 号加西バイパスの整備について県と連携を図り、着実に取り組んでいきます。また、地域要望への対応に重点を置き、市民生活に欠かせない市道の修繕や通学路の積極的な整備を進めるとともに、河川や橋梁の計画的な修繕により安全確保に努め、都市公園等についても、適切な維持管理を行うことで活用の促進を図ります。

水道事業及び下水道事業では、令和 6 年度に改定を行うそれぞれの経営戦略に基づき、効率的かつ柔軟な事業展開を図りながら、持続可能な経営に努めます。

公共交通に関しては、加西市地域公共交通計画に基づき、北条鉄道・路線バス・コ

コミュニティバスや地域主体型交通がそれぞれ役割分担をしながら市民の移動需要に対応した交通ネットワークの整備に努めます。コミュニティバス KASAI ねっぴ〜号の路線再編や北条鉄道 ICOCA システムの導入に向けた事業に着手し、利便性の向上を図っていきます。

#### 【基本方針４ ともに活躍しまちの魅力を高める】

四つ目は「ともに活躍しまちの魅力を高める」ための施策です。

市長への手紙やタウンミーティングにより、積極的に市民ニーズを把握し、市民の皆さまから寄せられた提案や要望、意見に対して、適切かつ迅速に対応します。

女性の雇用促進のため、ふるさとハローワークにおいてきめ細かい就労支援やセミナーを開催し、その情報発信に努めます。

#### （政策１１ 協創のまちづくりの推進）

今後の地域づくりの目標や方向性を示した「加西市地域づくりのあり方指針」に基づき、地域と一体となって地域づくりを進めるとともに、各地区における活動拠点の確立を支援します。

ふるさと納税型クラウドファンディングを活用した課題解決型プロジェクトを実施し、プロジェクトを通じて、まちづくりにかかわる人材となりうる関係人口創出を図るとともに、若者や女性が活躍できる環境を整備することで、まちの魅力を高め、移住・定住につなげていきます。そのために、私たちの地域の魅力を取りまとめ、市内外に広く発信し、多くの人に認知してもらうため、シティプロモーション推進による情報発信を積極的に実施します。

ふるさと納税については、ポータルサイトへのアクセスを高める取組や魅力的な返礼品の開発・発掘を進めてまいります。

また、加西市の食文化を誘客につなげる「食」を事業者と協働で開発を進めるほか、地域資源を活用したイベントの開催、SNS 等を活用した魅力の情報発信を行うとともに、観光事業者向けプロモーションを充実させ、関係人口・交流人口の増加につなげるよう取り組んでいきます。

広報・広聴の充実として、より親しみやすく読みやすい広報紙の作成に努め、各種施策やサービス・制度の周知を図るとともに、報道機関へのプレスリリースの充実を図るほか、市公式LINEの活用を進め、一人ひとりに寄り添った情報をタイムリーに発信していきます。

また、市長への手紙やタウンミーティング等を通じ、積極的に市民のニーズを把握するとともに、市民の皆さまから寄せられる提案や要望、意見に対し、適切かつ迅速

な対応を行います。

### **(政策12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現)**

「加西市人権尊重のまちづくり条例」の趣旨を踏まえ、自分らしく生きられる地域づくりを目指して、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。児童虐待及びドメスティック・バイオレンス対策では、迅速な被害者保護と安全確保に努めます。また、障がいのある人への理解の促進や権利擁護の推進に取り組むとともに、高齢者の権利擁護に関わる相談などに対し、迅速で適切な対応に努め、互いに支え合いながら自己実現できる地域社会づくりを目指しながら、近隣市町とともに「北はりま成年後見支援センター」を設置し、地域共生社会の実現に向けた権利擁護支援の推進を図ります。

また、性差によらず誰もが自分らしく、あらゆる場で活躍でき、安心して暮らせる社会の実現に向けたまちづくりを進めます。女性の雇用促進のため、ふるさとハローワークによるきめ細かい就労支援やセミナーの開催、情報発信に努めます。さらに、今後も増加が見込まれる外国人市民との多文化共生社会を実現するため、日本語教育事業の強化及び居場所づくり事業の推進を図るなど、外国人と日本人のみんなが住みやすいまちづくりを実施します。

### **(政策13 効率的で持続可能な行財政の推進)**

行政サービスの効率化や質の向上を図るため、行政事務の電子化をさらに推進します。また、「公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の最適化を推進し、市民にとって必要なサービスを維持できる公共施設等の配置と、新たな課題やニーズにも対応できるよう取り組むほか、加西市DX推進計画に基づき、デジタル技術を活用して市民生活の利便性向上や地域社会の課題解決、地域産業の活性化に取り組みます。

北播磨広域定住自立圏や播磨圏域連携中枢都市圏をはじめ、一部事務組合の強化を図り、他自治体と連携した取組を進めていくとともに、民間活力を活用し、まちづくりの活性化と行政サービスの向上を図るため、大学や企業等との連携を強化します。

「SDGs 未来都市」として、個人や企業・団体等によるSDGsに通じた地域貢献活動を支援するとともに、様々な主体が協働し、新たなサービスや取組が創出されていく「幸福度」の高いまちを目指します。

## 最後に

以上、令和6年度施政方針に基づき、今定例会に提案させていただいております「令和6年度当初予算案」をはじめ、各議案につきまして、ご審議をよろしくお願い申し上げます。

市民の皆さまが、生活しやすいまちを創るためには、対話を大切にし、その声を政策へと反映させていきます。ご期待に応えられるよう、全力で市政運営に邁進してまいります。

議員各位並びに市民の皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。